

# 12月の新着本

2022年

12月10(土) 貸し出し開始

【一般図書】

ジェyson流 お金の増やし方 【読者希望】	厚切りジェyson	芸人でもある厚切りジェysonによる、初のお金に関する書籍。これだけやれば貯まるのに… Why Japanese people!? どうしてお金が貯まらないの!? どうやったらお金を増やすことができるのかに悩む人々へ送る、簡単にできる、節約、資産を増やす方法、投資まで…お金を増やすため、強いては人生を豊かにするためののヒントが満載。
とんこつQ&A	今村夏子	真っ直ぐだから怖い、純粹だから切ない。あの人のこと、笑えますか。“普通”の可笑しみから、私たちの真の姿と世界の深淵が顔を出す。人間の取り返しのつかない刹那を描いた4篇を収録、待望の最新作品集!
ハヤブサ消防団 【読者希望】	池井戸潤	ミステリ作家vs連続放火犯のどかな集落を揺るがす闘い! 亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住んだミステリ作家の三馬太郎。地元の人々の誘いで居酒屋を訪れた太郎は、消防団に勧誘される。迷った末に入団を決意した太郎だったが、やがてのどかな集落でひそかに進行していた事件の存在を知る——。連続放火事件に隠された真実とは?
ライオンのおやつ 【寄付本】 【今月のスタッフおすすめ本】	小川糸	人生の最後に食べたいおやつは何ですか? 若くして余命を告げられた雫は、瀬戸内の島のホスピスで本当にしたかったことを考える。ホスピスでは入居者がリクエストできる「おやつ時間」があるのだが、雫はなかなか選べずにいた…食べて、生きて、この世から旅立つ。すべての人にいつか訪れることをあたたかく描き出す、今が愛おしくなる物語。
リバー 【読者希望】	奥田英朗	同一犯か? 模倣犯か? 群馬県桐生市と栃木県足利市を流れる渡良瀬川の河川敷で相次いで女性の死体が発見! 十年前の未解決連続殺人事件と酷似した手口が、街を凍らせていく。十年分の苦悩と悔恨は、真実を暴き出せるのか—人間の業と情を抉る無上の群像劇×緊迫感溢れる圧巻の犯罪小説!
広重ぶるう	梶よう子	武家に生まれた歌川広重は浮世絵師を志す。しかし、彼が描く美人画は「色気がない」、役者絵は「似ていない」と酷評ばかり。葛飾北斎と歌川国貞が人気を博すなか、鳴かず飛ばずの貧乏暮らしに甘んじていた広重だが、ある日舶来の高価な顔料「ペロ藍」に出会い—。
ケアマネージャーはらはら日記 【読者希望】	岸山真理子	「いらだちに直面する仕事」介護支援専門員が向き合う、怒り、悲しみ、不安の正体—。 「人生の最終章を見つめて」と語る筆者の実際の体験談。
暇と退屈の倫理学 【読者希望】	國分功一郎	暇とは何か。人間はいつから退屈しているのだろうか。答えに辿り着けない人生の問いと対峙するとき、哲学は大きな助けとなる。先人たちの叢智を読み解けば、知の樹海で思索する喜びを発見するだろう。 現代の消費社会において、気晴らしと退屈が抱える問題点を鋭く指摘したベストセラー。
齋藤孝が読むカーネギー「人を動かす」	齋藤孝	本書は、デール・カーネギーの世界的ベストセラー『人を動かす』を齋藤孝が読み解き、その意味するところをわかりやすく、深い共感をもって解説する。一人前の大人になるために他人とどのように接したらよいのか、本書には著者自身のオリジナリティーに溢れた実践的ノウハウがふんだんにちりばめられている。

ひとりほぐし 【読者希望】	崎田ミナ	気持ちのよいマッサージを受けた後は、疲れやストレスもスッキリしますよね。本書は著者自身が「ほぐしの専門家」に教えてもらったテクニックで、自分の手で体も心もときほぐせるようになれる本です
クロコダイル・ティアーズ 【読者希望】	雫井脩介	息子を殺害した犯人は、嫁である想代子のかつての交際相手。被告となった男は、裁判で「想代子から『夫殺し』を依頼された」と主張する。犯人の一言で、のこされた家族の間に、疑念が広がってしまう。
セカンドチャンス 【読者希望】	篠田節子	麻里、51歳。長い介護の末母親を見送った。婚期も逃し、病院に行けばひどい数値で医者に叱られ、この先は坂を下っていただけと思っていたが…。一念発起、水泳教室に飛び込んだら、人生がゆるゆると転がり出した。
正義中毒 人は、なぜ他人を許せないのか？ 【寄付本】	中野信子	日々誰かの言動にイライラし、必要以上の怒りや憎しみを感じながら生きるのは、苦しいことです。「なぜ私は、私の脳は、許せないと思ってしまうのか」を知ることにより、自分や自分と異なる他者を理解し、心穏やかに生きるヒントを探っていきます。
汝、星のごとく	凧良ゆう	その愛は、あまりにも切ない。正しさに縛られ、愛に呪われ、それでもわたしたちは生きていく。本屋大賞受賞作『流浪の月』著者の、心の奥深くに響く最高傑作。
あやうく一生懸命生きるところだった 【寄付本】	ハ・ワン	「こんなに一生懸命生きているのに、自分の人生はなんでこうも冴えないんだ」全力で走り続けることを辞めたことで見えてきた、自分をすり減らす毎日から抜け出し、自分らしく生きるコツとは？
よって件のごとし 三島屋変調百物語八之続 【読者希望】	宮部みゆき	従姉妹のおちかから聞き手を受け継いだ三島屋の「小旦那」こと富次郎は、おちかの出産を控える中で障りがあるとは思わなかった、しばらく百物語をお休みすることに決める。休止前の最後の語り手は、商人風の老人と目の見えない彼の妻だった――。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、令和5年新着本は2月11日(土)から貸出いたします。